



森のなごま

2017年6月号

NO. 110 (継続255号)

事務局が移転しています!!

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp> 発行人 久保 重明
〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 Tel.046-297-0301・Fax046-297-0302

第87回森林探訪 『陽春の日向薬師』 自然観察部会
(公財かながわトラストみどり財団共催)
2017年4月23日(日) 8:30~15:30、晴れ、参加者91名
コース 伊勢原駅-バス-日陰道-日向薬師-日向山-七沢温泉(解散)

日向薬師



< 自然観察部会 山口 正志 14期 >

今回の森林探訪は、サブタイトルを「平成の大修理を終えた日向薬師と周辺の自然を楽しもう」と題して企画されました。日向薬師は古い歴史を持ち、716年に僧行基によって開山されました。同じ行基が責任者として作られた奈良の大仏の開眼が752年ですので、こちらより歴史があります。かつては、源頼朝が娘の病回復を祈願するために訪れた所とも言われています。

この寺林の植生として、イノデ〜タブ群集、ホソバカナワラビ〜スダジイ群集が見られます。特に後者は真鶴、湯河原より飛地分布しており、学術的に貴重な林となっています。コースの日陰道ではヤマネコノメソウ、オドリコソウの他、今のシーズンは「葉」として見られるキツネノカミソリ、ヒガンバナが見られました。日向薬師では前記の植物に加え、オカメザサやイズセンリョウ、日向山ではアセビ、ミヤマシキミ、ニガイチゴなどが見られました。

日向山へ向けて



今回の森林探訪では、好天にも恵まれ、参加者の方に好評いただいたコースとなりました。アンケート中には一部改善をご指摘いただくものもありましたが、91名全員が「参加して良かった」「これからも参加したい」とご回答いただきました。



亀石

中には、『ガイドさんの案内で安心して新緑の中を歩き、心が洗われた様で大変楽しい一日を過ごす事が出来、植物の名前も覚える事が出来ました。』と絶賛いただく声もありました。

また小学生1名と中学生1名が参加され、大変喜ばしく思うと共に、この森林探訪が自然環境保全を次世代につたえる一つのきっかけになればと願っております。

写真撮影:内野 ミドリ 9期

スタッフ かながわトラストみどり財団 斎藤様、榎様 看護師 青木様
リーダー 長尾⑬、安部⑤、内野⑨、小笠原⑩、小林⑩、鳥飼⑪、松永⑪、赤崎⑫、松石⑬、西岡⑭、牧石⑭、山口⑭

第1回ブラッシュアップ研修会『**野外における応急処置法**』（公財）かながわトラスティみどり財団主催

講師：日本山岳協会遭難対策委員会 ^{いさお} 恵 秀彦氏、アシスト-山新 真人氏&大沼 芳人氏

平成28年4月15日(土)10:00~15:00 場所：神奈川県社会福祉会館(横浜市)

<記 西岡 一郎 14期 >

(公財)かながわトラスティみどり財団主催の平成29年度第1回ブラッシュアップ研修会が講義および実習での応急処置法の研修が行われました。応急処置は繰り返してやり、身につけることが必要であり、とっさの時に動けるようになりたいたいものです。以下はそのトピックです。



最初に

● 研修スケジュール

- 9:30~9:50 受付
- 9:50~10:00 オリエンテーション
- 10:00~12:00 救急法 講義・実技
- 12:00~13:00 昼食
- 13:00~15:00 救急法 講義・実技
- 15:00~15:10 閉会 片付け

● **野外でのファーストエイド**とは、急な病気やけがをした人を助けるためにとる最初の行動(最初に傷病者に出くわした者が行う最初の応急手当)であり、すぐに救急車は来ないことが前提になる。

● 手順は以下のようになる。

状況評価/安全確認⇒初期評価(緊急性の確認(意識・呼吸・心臓)/緊急連絡&一時救命処置(心肺蘇生/AED)⇒二次評価(詳細観察)⇒応急手当(止血・体位管理)やじるし⇒搬送/救助隊への引継ぎ

- ・ 頸椎損傷対策として、相手の頭の上(視野外)から近づき、頭を支え動かさないようにする。
- ・ 救助要請で使用した携帯は受け専用とし、他の携帯で家族に連絡する。
- ・ 手当には手袋(なければコンビニの袋等)を使い、汚れに直接触らないようにする。
手当後に手袋をとる場合は汚れに触れないようにし、あとで手洗いをする。



頭を支え……

救急包帯による止血と創傷保護



ラテックス手袋



リアルティな傷小道具
血が出て傷が



ペットボトルのキャップ
に穴が空いています



- ・ きれいな水で傷を洗う。勢いで洗い流すため、ペットボトルのキャップに穴をあけたものか、ビニール袋にピンホールを開けたものを使用すると良い。
- ・ 傷を治す方法として、傷を洗った後は専用の傷にやさしいバンドエードを使用する。湿潤療法というフィルムを作りじわじわと治す(傷を乾かさない、消毒液は使わない、かさぶたを作らない)という方法が今は一般的であり、昔とは逆になっている。
- ・ 目を紙コップで負傷カバーと不安カバー
- ・ 弾性包帯、三角巾



弾性包帯
ELASTIC BANDADE



三角巾 SLING
を使って



(公財)かながわトラスティみどり財団：内田様、佐々木様
参加者：菊地①、高橋③、足立④、堀江④、滝澤⑤、小野⑦、有坂⑧、草野⑧、久保⑧、松本⑧、三浦⑧、飯澤⑨、内野⑨、福島⑨、水口⑨、村井⑨、上田⑩、大橋⑩、福島⑩、松永⑩、松本⑩、山下⑩、湯浅⑩、石川⑫、杉崎⑫、溝田⑬、小松⑭、立花⑭、西岡⑭、野村⑭、羽鳥⑭、牧石⑭ 32名

(写真撮影：広報 松本)

森林癒やし部会 『森林癒やし体験指導研修』
3月12日(日) 9:30~15:00、曇り 参加者:20名(講師含む)
県立七沢森林公園(厚木市七沢)

<記 小林 真理恵 14期>

3月中旬の少し肌寒い中、県立七沢森林公園にて森林癒やし体験指導研修が開催されました。緑豊かな公園内の様々な場所で五感をフル活動させ森を楽しむ体験のお手伝いする為の活動について考え、自分自身も“森林浴”効果を体感するという有意義な研修となりました。今回の研修ではアロマを活かした匂い袋(サシェ)作りや、眺望を通し、日常から非日常への転換、詩の朗読による気の発散、腹式呼吸、森林浴によるフィトンチッド効果、ハンモックに乗り、1/f、樹幹の揺らぎ、木に触れ、木の感触を楽しむなど様々な取り組みが行われました。

森林浴による癒やし効果は様々ですが、例を挙げるとストレスホルモンを減少させ「緊張」「うつ」「怒り」「疲労」などの状態を緩和減少、自律神経を安定させ、副交感神経の活動を高めリラックス状態を作り、高血圧、脈拍数を低下させ、免疫力がアップし、抗ガン効果もあると言われています。

精神的な落ち着きをもたらすフィトンチッドいわゆる「森林の香り」というものですが、アロマ精油を取り入れればご自宅でも手軽に効果を得ることが出来ます。

アロマ精油



ハンモックの揺らぎ体感



ハンモックでは1/f、樹幹の揺らぎなどを体感すると共に指導者として、ロープの結び方や、どの年代の方も安全に体験出来るよう、高さや乗り方などを学びました。

声出し効果



ヤッホーと呼びかけたり、詩の朗読、木肌への語り掛けなど自発的に声を出すことの効果も大きいと実感しました。

参加者全員で



今後も様々な森林癒やし体験をとりいれながら、自然の豊かさを体感出来る機会を提供していく所存です。最後に研修の場を提供して下さった七沢森林公園の皆様にお礼を申し上げます。

(写真 宮下 修一 10期)

熱中症を防ごう!

森のめぐみ シリーズ

第19回 薬になる草や木

香りの図書館 館長 谷田貝 光克 氏

枠組は桜の小枝です

私たちは古くから野山の草木を薬として利用してきました。おなかが痛いとき、けがをして傷を負ったときなどに応急処置として草の煎汁を飲んだり、傷口に葉の汁をつけたりして治療に役立ててきたのです。経験の中から生まれ出たこのような薬は民間薬とか伝承薬と呼ばれています。地方によって、国によってそこに生えている植物は違いますが、それぞれに先人の知恵が生かされて薬として利用されている植物がよく見られます。

身近なものではアカザが歯痛や虫刺されに、イタドリが便秘に、ヨモギが喘息や下痢止めに、クマザサが胃のもたれに、センブリが胃痛に、ホオズキが咳止めに、キハダが健胃に、ノビルが虫刺されに、といった具合にです。

初めてこれらの植物を試した人は全くの偶然であったかもしれませんが、その効き目が認められ伝承されてきたのです。口伝いに伝えられてきた伝承薬ですが、最近の進んだ科学によってその薬効成分までも明らかにされているものも少なくありません。

薬草については中国太古の伝説上の「神農」という方がよく知られています。数千年前の神農は百草をなめ、自ら毒にも当たり、薬としての効果を確認したと言われていました。この神農が中国最古の薬草の本「神農本草経」をまとめたと言われていますが、神農は伝説上の人物で実際は後世になり多くの人によって書かれたものと言われていました。ここでも最初は経験によって薬草が見出されているのです。現在でこそ、実験動物や病原菌や腫瘍細胞などを用いて薬効のある植物や成分が見出されるようになりましたが、古くは全て経験によっていたのです。神農本草経は中国の医薬のもととなり、それが日本にも伝わり漢方のもとになっています。

インドやスリランカでは中国医学、ギリシャ・アラビア医学と共に世界三大伝統医学の一つであるアーユルヴェーダが行なわれています。アーユルヴェーダは薬草を用いた医療が中心になっていますが、スリランカでは自生する植物の2000種を薬用植物

として政府が指定して、そのうちの400種を国家管理の下におき、そのうちのおよそ160種を輸出禁止としています。この国を訪れた時、土地の人の案内で田畑のあぜ道を歩きながら雑草のように生えているそれぞれの草を指さし、ほとんどいとまなく薬草として説明しているのを聞いて、さすがにアーユルヴェーダの国と感心すると同時に身近な草を大事にしている姿を見ることができました。

江戸時代綱吉の時、鎖国の中で長崎のオランダ商館から江戸参府をしたドイツ人医師ケンペルは、江戸への道すがら、道端の草々に目を見張り興味を示して走り回ったと言います。そこに住んでいる人たちにはなんとも思われぬ野山の草木にです。今またケンペルの気持ちに立ち返り見直したら何か新しい発見があるかもしれません。野山にはまだまだ私たちの知らない宝が隠されていることでしょう。



神農 伝説上の人物

(イラスト 広報部 大塚 ①)

活動短信

今回の掲載は平成29年3/4~4/8です。
寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。



無料イラストより



虹始見 4/15~4/19頃
にじはじめてあらわる
虹が初めて架かるころ
第十五候 清明 未侯

蛙始鳴 5/5~5/9頃
かわずはじめてなく
蛙が鳴き始める
第十九候 立夏 初侯

活動短信への投稿概略フォーマットと略語の説明
ページレイアウトは気にせずベタ書きで結構です。

写真もあれば1枚添付ください。

◆ 活動団体・活動名 等

- 日** 日付(できれば時間と天気も)
 - 場** 場所 (例:相模原市緑区 長竹承継分収林)
 - 参** 参加者 人数
 - 県** 神奈川県 環境農政局 緑政部
水源環境保全課 水源の森林推進グループ
 - 財**(公財)かながわトラストみどり財団、**看** 看護師
 - スタッフ** 例 小田原市森林組合XX様
例 川崎市公園緑地協会・XX様
 - イ** インストラクター(○数字:期) **研**:研修枠
- 以下の**本文を概ね400字前後を目安**として執筆ください

リーダーは責任を持って執筆者の選択と執筆後のチェックをお願いします。(執筆者もお忘れなく!!)

活動終了後の速やかな投稿をお願いいたします。

◆ 自然観察会「21世紀の森の山野草観察」

「園内を散策しながら森に生えている山野草を観察」

- 日** 4月15日(土)10:00~15:00、晴れ
- 場** 南足柄市 県立21世紀の森
- 参** 7名(大人男3名女2名・子供男1名女1名)
- スタッフ** 21世紀の森 平井様
- イ** L 杉崎⑩

「21世紀の森園内を散策しながら森に生えている山野草を観察」

10時、ふれあいセンターで、挨拶やメンバーの紹介、スケジュール等の打合せ後、内山林道周辺→金太郎林間広場→運動広場→ふれあいセンターの行程で、折々に触れる植物をたっぷり時間をかけ、五感で味わう。

春の大爆発だ！

草原の春の妖精達は歓喜の声に満ち溢れ、木々(落葉樹)の芽吹きも同時に始まって、「花と新緑」「春と初夏」の

同時進行なのだ。

例年なら多少の時間差を持ち開花する草木の花々が、今日の日に合わせてように一度にはじめて園内はまるでお祭り騒ぎだ。時間がいくらあっても足りない。

午後から天気が急変(雨)する予報なので、午前午後と2部構成の散策予定を、昼食をずらして連続で実施。

結果的に解散後雨がぱらついてきたので、本日の観察会は大成功でした。

(記 杉崎 恒三 ⑩)

◆ 株式会社 カナエル 森林再生パートナー活動

- 日** 4月19日(水) 9:30~13:30、晴れ
- 場** 南足柄市 県立21世紀の森 マダケの展示林
- 参** 取締役佐野様他 計20名(男性15名、女性5名)
- イ** L阿部⑧、齋藤⑧

初夏を思わせる暑さの中、木材工芸センター前にて阿部リーダーによるオリエンテーションが始まりました。

今回初参加の方が2名いることもあり、水分・休憩を適宜取ることやのこぎりの取り扱いに注意することなど注意すべき点についてお話がありました。

参加者を二班に分け、展示林の奥側を担当した班は沢沿いのうっそうとしたマダケの皆伐、手前側を担当した班は枯損した竹の片付けや集積を中心に行いました。

(株)カナエルの皆様方は、今年で6度目ということもあり作業に手慣れている印象で、お互いに声を掛けあって役割分担するなど効率良く作業を進められています。最後に整備された状況を確認し、「きれいになったね。」とか「頑張った甲斐があったね。」と声があがりました。

予定通り13時に作業が終了し、道具の清掃、終わりの会が開催され、今回初めて参加された方から「楽しかった。」「また参加したい。」との感想がありました。

最後に21世紀の森の看板の前で記念写真を撮り、解散、次の会場に向かわれました。

((記 齋藤 彰秀 ⑧))

ニュースレター「しずくちゃん便り」
ホームページは下記URLで見ることができます。

かながわの水環境の
保全・再生をめざして
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f7006/p23426.html>

◆ 第10回秦野市植樹祭

主催: 秦野市市民による森林づくり実行委員

- 日** 4月29日(金)(昭和の日)9:00~12:30、晴れ

場 秦野市 弘法山

(植樹: 権現山 展望台下、および弘法山まで自然観察

参 116名。

及び秦野市長、市民ボランティア、関係団体、事務局

イ L西出⑫、小野⑦、有坂⑧、内野⑨、杉崎⑩、

松永⑪、松石⑬、西岡⑭

秦野市では、森林保全への市民意識を高め、普及啓発と活性化を図っていくため、植樹活動を毎年実施しており今回で10回目です。五月晴れのすがすがしい日のもと、地元の人を中心に子供を含む様々な年齢層の方が参加されました。

権現山展望台横で開会式が行われ、市長他の来賓の挨拶、参加者全員での記念撮影が行われました。その後、8班に分かれインストラクターの指導で、権現山直下でヤマザクラ、イロハモミジ、コナラ、計100本の植樹を行いました。植樹後は、弘法山までの自然観察会を行い、新緑と、ホウチャクソウ、ホタルカズラ、フデリンドウ、ハナイカダ、カントウタンポポ、林の中に咲くキンランなどの春の花々を観察しました。また自然観察の途中の林の中でハンモックの体験も行いました。

風薫る新緑の中での、植樹、自然観察、ハンモック体験と盛りだくさんの内容であり、参加者の皆さんに充実感がみられました。

(記 西岡一郎 ⑭)

◆ **クレマチスフェア(街頭キャンペーン相模原)**

日 5月6・7日(土・日) 9:30~4:00

場 相模原市立 麻溝公園

参 5/6: 141名(大人89、子ども52名)

5/7: 136名(大人76、子ども60名)

イ 5/6:L森本⑤、菊地①、高橋③、足立④、相馬⑤、鈴木⑤、永野⑥、大塚⑪、星野⑬の9名

財団: 靱山様、グッズ販売 米本②

5/7: L森本⑤、高橋③、足立④、相馬⑤、鈴木⑤、富樫⑥、小野⑦、大塚⑪、永松⑫の9名

財団: 佐々木様、グッズ販売 米本②

新緑が美しい相模原市で3度目の街頭キャンペーン。実施に当たっては、(公財)相模原市まち・みどり公社麻溝公園グループ様に、大変お世話になった。

今年は、来場者に恵まれ二日間で277名と、昨年比ほぼ倍増したのが特筆される。

いつもの紙芝居・クイズに加え、体験教室として丸太切

り(鳴り物でもある)葉巻笛を、昨年同様に採り上げた。丸太切りでは、バリ取り用のサンドペーパー装着台の投入で、出来栄も良かったようだ。葉巻笛も、お待ちが出る程の人気。



今後とも、相模原市まち・みどり公社との協働路線をより深化させていきたい。

(記 森本 正信 ⑤)

◆ **やどりき事業部会 水生生物自主研修会**

日 5月7日(日)9:30~14:30、晴れ

場 やどりき水源林(寄沢)

参 L井出①、宮本④、滝澤⑤、白畑⑦、草野⑧、松本⑧、杉崎⑩、福島⑪、真貝⑪、吉田⑪、真部⑬、西岡⑭、牧石⑭

午前中は、ネットワーク活動などでの利用可能性の検討を目的とし、集会棟前から林道終点先の堰堤までの寄沢ミニ沢登りを行い、経路の確認、観察ポイントの確認、危険箇所での間伐ノコを使った整備を行いました。途中ではクワガタソウ、ミゾホオヅキ、ガクウツギ、ヒメウツギなどが花を咲かせていました。

午後は、寄沢での水生生物の採取と、同定とデジタル顕微鏡をタブレットに接続して写し観察(とても便利でした)を行いました。昨年大雨で流路が変わったため、やどりき水源林の集い等で利用できるかが心配されましたが、カゲロウ、カワゲラ、トビゲラは調査した5地点全てでたくさん見られ、プラナリア、ガガンボ、魚のカジカ等もいて、行事での使用には問題ないことが確認できました。

(記 西岡 一郎 ⑭)

◆ 鈴廣蒲鉾本店様 新入社員研修「間伐」

日 5月8日(月)10時~13時

場 やどりき水源林 恵水の森

参 参加者 12名

県 中田様、大西様

イ L 牧石⑭ 上田⑩

当日は晴天に恵まれ、9時より伐採する木の選木を県担当者ともに行った。

10時前に参加者は到着し、倉庫前で合流し間伐の準備を行った。



選木した木が比較的大きく、伐倒、枝払い、玉切り、片付けと一連の作業に時間を要する傾向があるため、現場までの移動時間を有効に利用して、自然観察をしながら「森の大切さ」「間伐の必要性」「森がきれいな水を育む仕組み」などを話した。

現場について具体的な作業手順と安全作業について、伐倒木を前に説明した。

熱心に話を聞き、メモを取って理解しようとする姿が印象的であった。

また実際の作業に当たっては積極的に交代しながら、ロープかけ、受け口作りを行った。



受け口の形状が予定通りに作ることができたので、慎重に追い口を切り始めた。木の重心が伐倒方向と反対方向にあるため、引きロープとの連携を十分に確認しながら追い口を切っていた。

くさびを使いながら伐倒方向にロープを引き、伐倒方向

への重心移動を行い伐倒した。受け口が正確にできていたため、予定通りの位置に大きな音を伴ってヒノキは倒れた。自分たちの作業の結果が目に見えた瞬間歓声が沸き起こった。枝払い、玉切りを行い、木を整理した。

(記 上田 啓二 ⑩)

◆ 何年か前のある新聞より GG (ジジイ)

植物の知恵はいじらしい。強風や雷、水不足のストレスにさらされた大木は、小さくなって出直そうとするそうだ。樹木医の石井誠治さんによると、太い新たな幹にするなど、世代交代がうまくいけば、巨樹は同じ遺伝子を継いで生き続ける(岩波ジュニア新書『樹木ハカセになろう』)

石井さんと木々を訪ねた。神奈川県の実鶴半島ではスタジイ、クスノキ、クロマツの大樹が江戸時代から年輪を刻む。仰ぐたびに^{けお}気圧された。「これほどの密生は珍しい」という。——以下 略

昨今の人間のお年寄りはずっと行動的らしい。

グランドジェネレーション (大いなる世代=GG)
と呼ぶそうだ。



◆ つぶやき

私たち森林インストラクターの間にはそのような人がたくさんいて頼もしい限りである。

人も自然もいきいき丹沢
丹沢の自然再生に取り組む 丹沢大山自然再生委員会のホームページをご覧ください。 <http://www.tanzawasaisei.jp/>

緑の募金
かながわ森林インストラクターの会は『緑の募金』の支援団体としても取組んでいます。全国で5番目/NPO法人で初めて委嘱されています。

やどりき水源林
ミニガイド

5月のピックアップ

滑空の達人がいました。
ムササビ



(撮影 鳥海氏⑭)

6月の水源林 おいでください!

ウツギが満開になります。川に入れます。緑、花が、オタマジャクシ、鳥たちも、そして上記のようなムササビも!! 案内人が案内します。

「森の案内人」情報

案内人がご案内します。案内と事故保険に無料です。

- 実施時間: 毎週土曜・日曜・AM10時~PM1時, 1~2時間程度
- 集合: 水源林入口ゲート前
- 内容: 森林インストラクターが自然観察にご案内します。森林のしくみ手入れなどについて説明致します。参加自由、参加費無料
- *10人以上の団体は事前に下記までご連絡ください。
- 問合せ: (公財)かながわトラスとみどり財団 TEL: 045-412-2255 FAX: 045-412-2300
- ホームページ: <http://www.ktm.or.jp>
- E-mail: midori@ktm.or.jp
- やどりき水源林までの道順
小田急線新松田駅または JR 御殿場線松田駅下車、富士急湘南バス「寄(やどりき)」行き乗車約25分。バス下車後(案内板あり)川沿いに徒歩35~40分。
寄大橋の右横が水源林ゲートです。

イベント情報 & ご案内



★スタンプを集めて「四季のたんまる君手ぬい」をもらおう!
参加方法 登山口まで台紙を購入
達成方法 登る、ひたすら登る、そして押す!
●開催期間●平成29年4月1日~平成30年3月31日
主催: 秦野市観光協会
特設 URL サイト: <http://www.kankou-hadano.org/tanzawastamp rally/>
事務局: 秦野市観光協会(Tel 0463-82-8833)

◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員・読者の皆様から広く原稿を募集しています。

<広報全般についてのお問い合わせ>
松本 保

Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

Tel: 090-7962-3168

<電子配信担当> 赤崎 さほり

Mail: s_akasaki-k_instructor@live.jp

Tel: 090-6150-6173

<メール・手書き原稿送り先>

【本誌】松本 保

〒246-0037 横浜市瀬谷区橋戸3-46-17

Fax: 045-301-9401

電話連絡先: 090-7962-3168

Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

【別冊】黒川 敏史

〒247-0066 鎌倉市山崎2273-1-515

Tel: 080-5477-2206

Mail:

kurokawa.family@aa.cyberhome.ne.jp

【別冊はCCを】福島 正治 (事務局長)

〒214-0006 川崎市多摩区菅仙谷3-1-204

Tel/Fax: 044-944-9423

Mail: fukky52000@yahoo.co.jp

原稿は随時受け付けています。

森のなかまは過去号もご覧になれます。
(ホームページ) <http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01>
(HP担当: 井出恒夫)

編集後記

★梅雨を前に、庭のブラックベリーが、ぐんぐん伸びています。今年は花付きもよく、たくさんの実が実りそう。果実酒かジャムか、何を作ろうか、今から楽しみが広がります。

(大塚)

★GWの疲れが今頃出てきました。温泉にゆっくり浸かって癒されたいです。

(赤崎)

★ニオイバンマツリ(園芸種の花)が満開になりました。今年は以前八幡宮で購入したボタン(八千代)も初めて咲きました。

(小川)

★「我が家の「ゆず」は桃栗三年柿八年...の例え通り、実をつけ始めて4年目です。今年は花を沢山付け豊作のようです。豊作・不作は1年置きみたいです。」

(菌田)

★強い日差し、暑い日がやってきました。参加者の熱中症予防が大切な季節ですね。皆様指導者自身もお気を付けてください。ご安全に!

(黒川)

★5/1に長野鬼無里に法事で帰郷しました。途中、霧積温泉、軽井沢、信濃追分からスーパー農道、真田、松代とルートをたどりました。いろいろな花が一斉に咲きとても綺麗でした。帰りは大町ルートにできました。地震で枯れていた美麻の温泉も復活していたので入ってきました。

(松本)

年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。

郵便振替口座 00230-0-2454

かながわ森林インストラクターの会宛までご寄附2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。

振替用紙到着の翌月号から12回/1年間お届け致します。

編集人: 松本 保
事務局: 福島 正治
広報部: 赤崎さほり 小川和恵
菌田栄哉 大塚晴子
小池 哉 黒川敏史
支援 伊藤恭造 大原正志 江頭淑子

開成町あじさいまつり

お問い合わせ先: 開成町まちづくり部産業振興課 TEL.0465-84-0317
<http://kaisei-ajisai.com/>

開成町あじさいまつり 概要

2017.05.02
2017 開成町あじさいまつり開催します
平成29年6月3日(土)~11日(日)の9日間
ご来場を心よりお待ちしております。

開成町あじさいまつり特別展
開成町指定重要文化財・築約300年前の古民家
あしがら郷 瀬戸屋敷